

# はるか

ha ru ka

VOL.21

2008.10

## 特集／生まれ変わっても…また女？ また男!?

- ・大学生に聞く！ 私たちの「<sup>いま</sup>現在」・「<sup>これから</sup>未来」とジェンダー
- ・男子厨房に入る！ ～男の料理～
- ・あなたはDVを受けていませんか？ していませんか？
- ・ジェンダーエッセー『はるか』な声
- ・インフォメーション

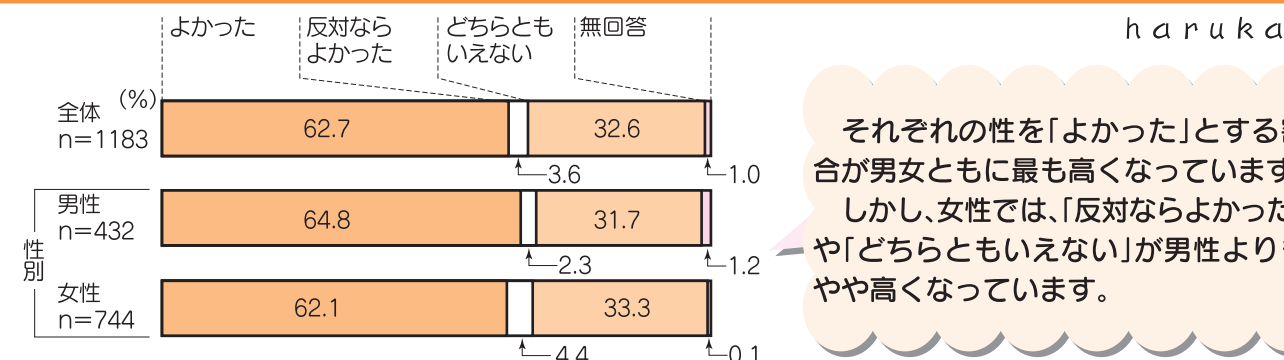


# 生まれ変わっても・・・また女？また男！？

社会生活や日々の暮らしのなかで、普段改めて意識することのあまりない「性別」というものについて、みなさんはどのように考えていますか？

右の表は、平成18年度に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」で、「あなたは、現在自分が男性または女性に生まれたことをどう思いますか？」という項目についての一般市民（20～69歳）の調査結果です。

今回は、市内の男女166人に対し、今の性別について「よかった」「どちらともいえない」「反対ならよかった」の理由をアンケート形式で質問してみました。その結果は以下のとおりです。



## あなたは、現在自分が男性または女性に

## 生まれたことをどう思いますか？

### 社会の中での存在

- ・女性に比べて社会の中での存在感が大いにあるような気がする。(60代～)
- ・男性は主に仕事、従は家庭と単純な生き方であるので、男性に生まれてよかった。(60代～)
- ・一般社会では、男性の方が優位に立つ場合(就職、職階等)がまだまだ多いから。(40代)
- ・家族から頼られる存在になれる。(30代)

### 今までに満足

- ・女性に生まれてくればよかったと思ったことが一度もないため。(40代)

### 男性の方が楽！

- ・化粧をしなくていいし、まだまだ男性が有利？な社会なので…(50代)
- ・通勤に服装を考えなくてすむ。(50代)

### 出産・子育ての喜び

- ・生命を誕生させることの尊さを知ることができた。(40代)
- ・子育てで自分も楽しめているから。(30代)

### 楽しい！

- ・洋服を買ったり、化粧をするのは楽しい。(20代)
- ・きれいに着飾り、おしゃれを楽しめる。(50代)
- ・家事が得意だから、女性として楽しく過ごせた。(60代～)

### 男性は大変そう…

- ・男性のように家族を背負って責任を負うのは大変。(40代)
- ・経済的に男性に頼って生きることできる。(50代)
- ・女性は仕事などにおいて責任が重くないので、気楽。(20代)

### どちらともいえない

#### 一長一短です

- ・どちらの性別でもそれぞれ良いことがあるはず。(男性・30代)
- ・男性はスーツ、ネクタイをしなければならず、女性は化粧をしなければならない。(男性・30代)
- ・男性は責任が重い。女性は自由がない。(女性・60代～)

#### 別の性も経験してみたい

- ・女性に生まれたことを想像できないが、両方経験できればおもしろい。(男性・50代)
- ・自分にはないものを経験してみたい。(女性・40代)

#### 私は私

- ・自分を生きるのに、男・女は関係ないと思う。(女性・60代～)

### こんな意見もありました

- 起業したい。(女性であるため親の仕事が継げなかった)(女性・30代)

#### 責任が重い…

- ・プレッシャーがある(仕事、社会etc.)(30代)

#### おしゃれしたい

- ・ウィンドーショッピングが好きだけど、女性ものも多く、男性ものは少ない。(30代)

#### 満足していない

- ・100%満足はしていない。(30代)

#### 女性であるがゆえに…

- ・男性は職業の幅が広い。私は公務員だが、それでも職場の男女差を非常に感じる。(40代)
- ・思い切り仕事をするには男性が良い。(60代～)
- ・女であるがため、つらい思いをしたことが多い。男ならもっといろいろできたと思う。(60代～)

- 男性は基本的に60歳まで働かなければならないが、女性は結婚して扶養に入ったり、共働きで家事を分担したり、自由度が高い。(女性・20代)

- 自分自身で自立したい。(女性・60代～)

- 結婚・出産すると仕事の幅も狭まり、男性は変わらず仕事できるのがうらやましいときもあった。子育てしながらでも仕事のできる環境を作ってほしい。(女性・30代)

- 自分の性格から、男性だったら自分をもっと活かすことができたが、ふりかえれば女性として満足できた。(女性・60代～)

- 法律や制度上では、男女平等が達成されつつあるが、まだまだ男は仕事、女は家庭と子育てという固定的な観念が残っている。(男性・50代)

### 編集委員のひとこと

- 今の自分が好きで幸せです。生まれ変わっても、その「性」を受け入れられる生き方をしたいと思います。(女性)
- 根強く残る旧来の慣習が、女性の思考を萎縮させていると感じました。男性の意識改革が急務ですね！(男性)
- 「女性に楽でいい」という意見が女性に多く見られたのは問題であり残念です。(男性)
- 性差による「障害」を感じたことも、「優遇」されたこともあったが、これまで概ね満足しています。(女性)

### まとめ

男性・女性ともに、それぞれの立場からさまざまな理由が挙がりましたが、全体では今の性で「よかった」とする意見が最も多くありました。

男性も女性も、内容は違えども、大変さや楽しさはそれぞれあります。

これからの時代、男女共同参画が浸透して、お互いが補い合い、認め合う社会が実現すれば、どちらの性でも、より生きやすく、生きがいをもって暮らしていけるのではないのでしょうか。

## 大学生に聞く！

# 私たちの「現在」・「未来」とジェンダー

ジェンダー…生物学的性別ではなく、社会的・文化的につくられた性別のこと。社会的性別。

私たちは普段家庭内での生活や就職活動を通じて、ジェンダーを身近に感じています。今回は、ジェンダーに関するテーマで、今の若年層がどう考えているかを中部大学の学生に探ってみました。

### 家事、手伝ってる？

#### Aさん(22歳 男性)の場合

Aさん「うちの両親は共働きだけど、家事は母に任せきりだなあ…」

近 藤「Aさんは手伝う？」

Aさん「手伝わないよ」

近 藤「もしかして家事は女の仕事だって思ってるところがあるのかな？」

Aさん「そうかも…」

### 主夫についてどう思う？

#### Dさん(23歳 女性)の場合

Dさん「女性の私でも男性並みに昇給、昇格できれば、夫になる人には主夫になってもらいたい」

長谷川「女性の社会進出が進んで制度も整ってきているから、できそうじゃない？」

Dさん「出産すると状況は変わってくると思うよ。産休・育休制度はあっても現実には利用しにくいこともあるみたいだし」

#### Eさん(26歳 男性)の場合

Eさん「向き不向きがあるから、性別にとらわれる必要はないでしょ。主夫はありだと思う」

長谷川「でも男性は外で働くものだと思っている人は多いよね」

Eさん「“保育士”や“看護師”という言葉が生まれたように、“主婦(夫)”という表現が無くなる時もあるかもしれないね」

### 私たちが聞きました

中部大学の

長谷川 葵さん 名倉 美穂さん 近藤 万莉さん



### 男だから女だからと言われたことある？

#### Bさん(23歳 女性)の場合

Bさん「女だから手伝って、ってよく言われるよ」

名 倉「女だからとか関係ないよね」

Bさん「本当だよ！一人の人間としてやりなさいって言われるなら納得するのに…」

#### Cさん(22歳 男性)の場合

Cさん「男の子だから泣くなって言われたかなあ」

名 倉「男の子だって泣きたい時あるよね」

### 結婚しても働きたい？

#### Fさん(23歳 女性)の場合

Fさん「働きたいけど、子どもができたかどうか分からない」

近 藤「家庭と仕事の両立は難しいと思う？」

Fさん「家族の協力があればこなせる気もするよね」

#### Gさん(23歳 女性)の場合

Gさん「夫の収入で生活していければ、専業主婦になりたい」

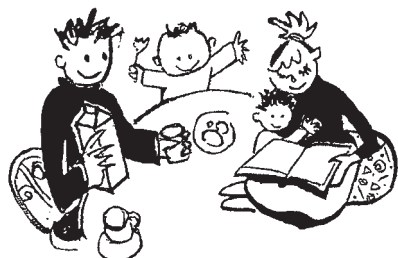
近 藤「大学で身につけた知識を仕事に生かすことができないのはもったいないくない？」

Gさん「でも好きな人のために尽くすことも幸せだと思う。私は家庭を支えていきたいかな」

### 聞き取り調査を終えて…

私たちの世代では、「家庭と仕事の両立」を希望する女性や「外で働くことよりも家事の方が得意」という男性も見受けられ、男性・女性という枠にとらわれない考え方が広まりつつあることが伺えます。その一方で「ジェンダー」に基づいた思い込みも完全になくなっていくわけではないと感じました。また、社会に根付く風習や制度を考えて、今後不安を感じている人が多くいることも分かりました。

まずは家庭の単位で「男だから、女だから」という意識を見直すことがとても大事だと私たちは考えています。家族みんなで家事を分担するなどといった家庭での小さな「男女共同参画」が、ジェンダー解消への第一歩なのではないでしょうか。



## 男子厨房に入る！～男の料理～



今回おじゃましたのは、鳥居松町にお住まいの奈良秀昭さん(46歳)宅。お父さんが料理する脇で、二人のお嬢さんが手伝う姿はさしずめキャッチボールを楽しんでいるかのよう…。

妻・淳子さんのご実家でも晩ご飯を担当するというスーパーお父さんにご登場いただきました。

### 前略おふくろ様

僕はショーケンのファンで、ショーケンが主演を演じた「前略おふくろ様」というドラマを見て、板前さんってカッコいいなあと思っていました。大阪出身ですから子どものころからたこ焼きの作り方は知っていましたよ。「あいつん家のたこ焼きがうまいゾ」となると、どうしたらその味が出るんだろうと興味がわくんです。

今でも、出張先などでおいしい料理に出会うと、どうやっているか聞いたり自宅で作ったりします。

おいしいものを家族にも食べさせてあげたい、そして「お父さんてスゴイ！カッコイイ！」と言われないじゃないですか(笑)。



### 出来上がったものは…!?



お父さんが料理するのを見るのは、子どもにとって案外いいのかもしれないなと思うんです。

立場や性別に関係なく、家族全員で食事の支度をする姿はとても楽しそうで、夫婦の会話、親子の会話もはずんでいました。

秀昭さんが作り上げたもの、それはあんかけチャーハンだけではありませんでした。夫婦の信頼関係、家族の絆を料理を通して築き上げたのではないのでしょうか。

### あんかけチャーハン

冷蔵庫にあるものなら何でもOK。鍋1つ、包丁も不要という手間いらずの一品は、まさに男の料理。見た目も色鮮やかで、おもてなしにも最適の絶品チャーハンでした。

#### レシピ

- ① フライパンに水とシーフードミックスを入れ、火にかける。
- ② 卵を黄身と白身に分ける。
- ③ 黄身をあたたかいご飯に混ぜてからチャーハンを作る。
- ④ ①に火が通ったら、かにかまぼこを入れ、中華スープの素とオイスターソースで味付けし、片栗粉でとろみを付けたら、②で分けておいた白身を入れ混ぜる。
- ⑤ ③のチャーハンに④をかけ、最後に三つ葉をのせたらできあがり！

# あなたはDV(夫・恋人からの暴力)を受けていませんか?していませんか?

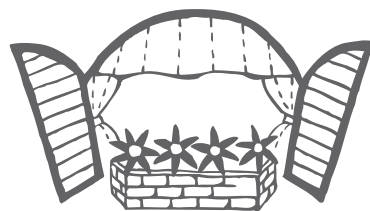


## こんなことで悩んでいませんか? Q&A

※複数の相談内容を組み合わせて作成したものです。

**Q** 夫は、私のすることが気に入らないようで、すぐに怒鳴ったり、物を投げたり壊したりします。殴られたのは結婚したばかりのころに一度だけですが、夫の機嫌が悪くならないように気を遣う毎日、子どもへの影響も心配です。離婚も考えていますが、怖くて言い出せません。

**A** 夫の機嫌をとりながらの生活は、息が詰まりそうですね。殴られたその一度の暴力は、その後も支配するには十分の恐怖だったわけですね。DVの場面を子どもに見せることは、子どもへの虐待であり、影響を与えます。しかし、離婚を言葉にすることは簡単ではなく、危険度が高くなることも考えられます。あなたが相談されたこの一歩を大切に、今後のことを一緒に考えていきましょう。



**Q** 付き合いだしたばかりの彼に、からだを無理やり触られるのがイヤです。「イヤ」と言ったこともありますが、聞いてくれませんでした。彼に嫌われたくないし、友達も、彼のことが好きならそれが当たり前だと言います。「イヤ」と思う私のほうがおかしいのでしょうか。



**A** DVは、相手の気持ちを尊重する対等な関係ではなく、いろいろな暴力で相手を支配(コントロール)します。「イヤ」と思うあなたはおかしくありませんし、それを伝えることも大事なことです。ふたりでいる時間は、リラックスでき、楽しいですか?「デートDV」(未婚の若い男女の間に起こるDV)について、ネットや本などから情報を得ることもできます。あなたの心とからだを大切に…。

## お知らせ

### オンラインDVほっと相談開始!!

春日井市男女共同参画室では、8月1日からオンラインによるDV相談を開始しました。パソコンや携帯電話から、いつでも相談できます。お気軽にご利用ください。  
アドレス: <http://www.soudan-kasugai.jp/>



(携帯電話での相談はこちらからでも!)

## 主な相談窓口

- 春日井市市民活動推進課男女共同参画室DV相談 ☎0568-85-6296  
午前9時～正午 午後1時～午後4時(土・日・祝・年末年始は休み)
- レディヤンかすがい お問い合わせ: ☎85-4188

|                             |                           |                                           |                         |                                                                       |                                 |
|-----------------------------|---------------------------|-------------------------------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 女性の悩み相談                     | 火曜日<br>水～金曜日<br>土曜日(第2・4) | 午前10時～午後3時30分<br>午後1時～午後4時30分<br>午前10時～正午 | 県相談員<br>カウンセラー<br>臨床心理士 | 夫婦、結婚、離婚、家庭のこと、<br>ドメスティック・バイオレンス、<br>セクシュアル・ハラスメント、<br>性別による差別的取扱いなど | ☎85-7871                        |
| 女性のための法律相談<br>(面接相談のみで、予約制) | 土曜日(第1・3)                 | 午前10時～正午                                  | 弁護士                     | 夫婦間、金銭、相続など、女性の<br>身の回りの法律問題について                                      | 予約(午前9時～<br>午後5時受付)<br>☎85-4188 |

注 ※火曜日の相談は、月曜日及び火曜日が祝日の場合休みとなります。 ※水～土曜日の相談は、祝日も実施します。  
※相談員は、すべて女性です。

- 愛知県女性相談センター(女性悩みごと電話相談) ☎052-913-3300  
午前9時～午後9時(土・日・祝・年末年始は休み)
- 愛知県春日井警察署 ☎56-0110(代)

## ジェンダーエッセー

## 『はるか』な声

### 素顔さわやか

鈴木 幾子

私は化粧やおしゃれにとっても興味が有り、機会を見つけては、自分なりに学んだり、工夫したりしてきた。その興味は高三の時、学校に美容部員が訪れ、化粧の講習会が開かれたときに始まる。私が、モデルにと頼まれ、皆の前で変身したのだ。自分が変わる喜びから、私は化粧の魅力にはまってしまった。そして、大学を出て就職し、仕事を続けていくうち、大人の女としての化粧やおしゃれは、ずっと私にとって欠かせないものだった。

しかし、やはり、何かと不便なことは間違い無い。旅行には化粧ポーチが必需品だし、出かけるときも夫を待たせる。山小屋に泊まったときなどは、落とすもつけるも大変だった。女性のたしなみとして、化粧は必要だとは思いますが、負担になることも度々である。

今年3月、私は仕事をやめた。長年の束縛から自由になり、ふっと力が抜けた。家にいる時間が増え、白粉に手が伸びることが少なくなった。するととても気持ちが良いためである。ファンデーションという一枚の皮がなくなり、肌が柔らかくなった気がする。さわるともちもちだ。そのうち、日焼け止めクリームだけしか塗ってない顔で、平気で外出するようになった。先日山歩きしたときも“スッピン”だった。爽やかな風が頬をなでた。これからも、もちろんフォーマルなときは化粧するが、できるだけ肌の負担を軽くしてやりたい。化粧という女の束縛から逃れて、私は今、何だかとても自然体なのである。

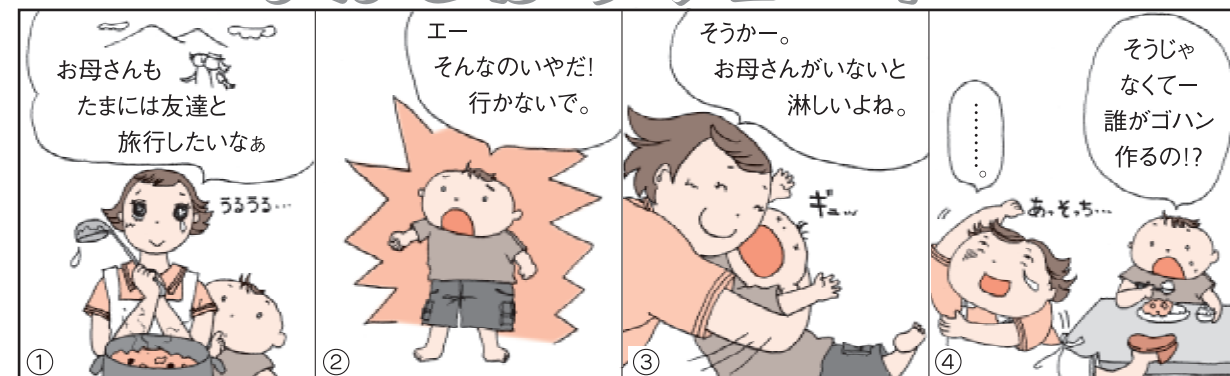
### 親のきもち

鈴木 守

我が家には3人の子どもがいる。上ふたりが男、末っ子が女だ。もう今はそれぞれ結婚して独立している。長男次男は東京の大学へ行った。長女も家を出たが、希望の大学に合格せず、結局地元の大学に入った。親としては「ほっとした」というのが本音だ。長男は大学3年のとき、私費で英国に、次男は高校3年のとき奨学生として米国に、それぞれ1年間留学した。末っ子は大学卒業後3年銀行に勤め、婚約した後3か月米国に語学留学した。長男次男の留学は時期が重なっていたが、それほど心配ではなかった。ところが娘の留学時は短期だったのに、無事に帰って来るまでとても心配だった。大学にしても留学にしても本人の意思を尊重し、励ますという点ではまったく平等に扱ったつもりだ。しかし、どこの親も多分そうだろうが、男の子、女の子ということでは思いが異なってくるのはどうしようもないように思う。男女平等、男女共同参画は大切なことだと思い、賛同するのだが、男と女はまったく同じではなく、性差が厳然とある。しかし、その点が差別につながらないよう気をつけなければいけないと思う。

【投稿大歓迎】みなさんからのエッセー(500字程度)を募集しています。

## なんでだろうコーナー



※お父さん、こんな時「大丈夫! 僕に任せて!」と言えますか?  
子どもは親の背中を見て育ちます。男女共同参画の実現はまず家庭から。

# INFORMATION



住田 裕子氏

## 第7回かすがい男女共同参画市民フォーラム

～かがやく個性のびやかな暮らしをもとめて～

- ・講演 「チャレンジ!みんなが主役の参画社会へ」
- ・講師 住田 裕子氏 (弁護士・内閣府男女共同参画会議専門調査会委員)

■と き／平成20年11月8日(土)  
午後1時30分開演(午後1時開場)

■ところ／東部市民センターホール  
<定員> 450名(超えたときは抽選)

### 《申し込み》

10月14日(火)<必着>までに住所・氏名・性別・年齢・電話番号《託児希望者は子どもの名前(ふりがな)・年齢》を記入して、ハガキかFAX、またはホームページから受付フォームでお申し込みください。

※市内在住か通勤、在学の人。託児定員20名程度。

〒486-8686 春日井市役所男女共同参画室「市民フォーラム参加」係へ

FAX(0568)85-5522 ホームページ <http://www.city.kasugai.lg.jp/sankaku/danjo/danjo/kou-t/7forum.html>

詳しくは、ホームページまたは広報春日井9月15日号をご覧ください。

問い合わせ先 春日井市市民活動推進課 男女共同参画室 TEL85-6152

## 編 集 後 記

市民のみなさまに特集記事のアンケート調査にご協力いただき、さまざまな意見や考え方を得ました。おかげで、より密度の濃いページにすることができました。ありがとうございました。 <土井>

あんかけチャーハンは今や、我が家の定番メニューです! <中村>

市民による企画・取材、はるか11号からの参画で貴重な勉強をさせていただきました。走馬灯のように浮かびあがる一コマ一コマの思い出に、感慨無量です。 <西田>

女に生まれるも男に生まれるも神様のおぼしめし。自分が選んだ訳ではない。しかし、世の中男女半々。これは男女助け合って生きていけということでしょう。共同参画するしかない? <西村>

【広告】※広告の内容に関するお問い合わせは、直接広告主をお願いします。

## ★ 大垣共立銀行

### ダイヤルサービスセンター

商品やサービスに関するダイヤル窓口です。お気軽にどうぞ。

☎0120-8888-23 (平日 9:00~21:00  
土・日・祝休日 9:00~17:00)

\*携帯電話・PHSからは 0584-77-1350 (通話料有料)

ホームページアドレス <http://www.okb.co.jp>

豊かな創造力と確かな技術で、  
あらゆる印刷物をお届けしています。

## 株式会社名古屋大気堂

〒461-0027 名古屋市中区栄一丁目19-15 イーストピア19  
TEL (052) 932-5201 FAX (052) 932-5203

## DV基本計画(仮称)を策定します。

春日井市では、DVを容認しない社会の実現に向け、DVの防止、DV被害者の保護、自立支援がより効果的に行われるよう、DV基本計画(仮称)を策定します。

計画案がまとまりましたら、市民の皆さんから意見を募集します。詳しくは、広報春日井11月1日号に掲載予定です。

介護付有料老人ホーム ベティさんの家神領(定員51名)  
(特定施設入居者生活介護)

自分が年を重ねたらここで生活したい。  
そして「一生悔いのない人生だった」と  
心から言える施設にしたい

〒486-0821 春日井市神領町591番地 ☎0568-82-1001  
ベティさんのやさしい介護スクール 愛知県知事指定事業所

ホームヘルパー養成研修2級課程 春日井、高蔵寺会場  
受講生募集

スクール専用回線 0562-82-0021

かすがい市男女共同参画情報紙『はるか』VOL.21  
2008年10月発行

企画・編集 はるか編集委員

発行 春日井市市民経済部市民活動推進課男女共同参画室

〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44

TEL 0568-85-6152 FAX 0568-85-5522

Eメール danjo@city.kasugai.lg.jp



ISO14001 認証取得  
「環境にやさしい自治体 春日井市」